

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	各務原市立蘇原第二小学校		
実 施 期 間	平成25年11月9日(土) (加佐見神社訪問は別日)		
実 施 概 要	<ul style="list-style-type: none">・授業参観(教科・道徳)・児童会行事・地元の加佐見神社を訪れ、市指定文化財「獅子頭」について学ぶ・緊急時受け渡しのための訓練 (東海地震発生時・注意情報または予知情報発令時)・LINEについての認識を深めるための講習会(保護者対象)・银杏販売(休み時間)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 □文化 □産業 □その他		
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 □交流活動 ■講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	538人	計 646人
	地域関係者	108人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none">・児童会主催の「ギネスチャレンジ集会」を開催、縦割り「仲よし班」で取り組んできた「大縄8の字跳び」について、練習の成果を発表した。3分間の跳躍回数を全校42の班で競い合った。保護者の方は子どもたちの活躍をあたたかい目差しで見守られていた。・学習発表では、校内のビオトープや近くの公園で集めた落ち葉や木の実を使って作ったおもちゃで家族の方と遊んだ。(1年生)・地元の加佐美神社に伝わる市指定重要文化財「獅子頭」等について、DVDで事前に学んだ後、実際に神社を訪れ説明を受けた。獅子頭のスケッチを行い、作品に仕上げる。(4年生)・帰りの会終了後、緊急時、災害時の命を守る訓練「児童の迎え→同伴帰宅」を行った。方法を変更して2年目のため、スムーズに行えた。・3年生・5年生の共同事業として、校庭で採れた银杏を処理して自作のパッケージに詰めて、参観者に販売した。手作りチラシを配布したり販売箇所を工夫したりして、完売をめざした。・各務原警察署生活安全課の係長さんより携帯電話やLINEによる事件や問題現状を伺い、使用上の注意点について学んだ。(保護者)		
成果及び課題	<ul style="list-style-type: none">○子どもたちが生き生きと活動している姿が素晴らしい。最近は一学年で集まって遊ぶことも少なくなったが、高学年の児童が低学年の児童の面倒を見ながら、一緒に活動する取組がなされていることは良いことだと思う。(地域の方より)○子どもたちが、時間をかけて処理した银杏を毎年楽しみにしてみえ、時間になると急いで販売所の前に並ばれた保護者もみえた。今年は300袋を越える販売で、完売するための苦労を子どもたちなりに感じる事ができた。○子どもたちが、一生懸命つくったおもちゃで、楽しい時間を過ごすことができよかった。(1年生の保護者) 地域の方にももっと学校の様子を見ていただけるよう、参加型の取組を検討していく必要がある。		